

# 事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニアわらび教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月22日（日）
自己評価総括の担当者	守田、伊藤、高橋

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	48	53
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	7	8

## 各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

<b>事業所の強み（※）だと思われること</b> <b>※より強化・充実を図ることが期待されること</b>	<b>事業所の弱み（※）だと思われること</b> <b>※事業所の課題や改善が必要だと思われること</b>
<p>お子様が楽しいと思える指導を提供できている。                  ペアレントトレーニングを通して、保護者様との連携やお話しやすい環境を作れている。                  フィードバックについては支援計画を元にお伝えすることができている。</p>	<p>親御様の疑問を拾いきれていない部分があるかもしれない。例えば個別支援計画書についてなどの専門性をわかりやすいように伝えていない可能性があるかもしれない。</p>

## 過去の取り組みや課題の振り返り

<b>工夫していることや意識的に行っている取組等</b>	<b>事業所として考えている課題の要因等</b>
<p>特別プログラムを定期的に設定している。                  指導員も違う方が指導に入って提供することができている。                  違うスタッフが入るけど、共有は教室間で徹底することができている。</p>	<p>集団の中で、指導員同士でコミュニケーションを取って行う必要がある。声をかけながら行うことで安全管理にもつながるのではないかと感じる。                  親御様のフィードバックの中で質問の仕方が答えづらいのかも。</p>

## さらなる充実と改善への取り組み

<b>さらに充実を図るための取組等</b>	<b>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</b>
<p>来所時にお子様だけではなく親御様にも同じ量くらいコミュニケーションを取る。                  来所時、帰宅時にお子様を待っている間、話をする。                  指導で難しかったことを教室全体で検討して実践できるようにしていく。</p>	<p>保護者とのコミュニケーションを密にする。                  積極的にコミュニケーションを取るようにして話す時間を増やしていく。                  スタッフ同士のコミュニケーションを密に取っていく。</p>